

モニタリング結果報告書 (令和2年度)

1. 施設概要

施設名	観音崎公園		
所在地	横須賀市走水2丁目・鴨居3丁目・4丁目		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/kannon/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和50年4月)		
指定管理者名	観音崎公園パートナーズ		
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>	
<p>利用状況がC評価、利用者の満足度がA評価、収支状況がA評価となったため、3項目評価はB評価となった。</p> <p>利用状況は、政府の1回目の緊急事態宣言を受けて駐車場を閉鎖することによる大幅な来園者の減少や、緊急事態宣言が出ていない期間においても新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛やイベント休止のため、目標を達成できなかったが、利用者の満足度は、駐車場や施設の閉鎖等の問合せにも丁寧に対応して円滑な公園利用を案内したことにより、良好で、また、収支状況についても、利用促進費に替えて植物管理、施設管理等を増やす工夫があり、良好であった。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、公園の自然環境に配慮した植物管理、自然と歴史資源を活かした利用促進の取組、及び地域やボランティアと連携した公園づくりの継続した取組が望まれる。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 観音崎公園の貴重な自然や歴史資源の特性を活かした公園づくりの実現に向けて、提案に沿った取組を行いながら管理運営にあたっている。 維持管理に関しては、地元ボランティアなどと協力し、希少動物の保護、施設補修などの取組が行われている。◆利用促進に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等の中止が相次いだが、規模を縮小しながら各種イベントを開催した。◆地域連携に関しては、ボランティア団体同士の交流の場を設けたり、地元の社会福祉法人とのイベントによる交流を行うなど、ボランティアや地域と連携した取組が継続して行われている。◆利用状況 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、公園利用者数は対前年度比で85.9%、目標達成率で77.5%にとどまったため、C評価となった。◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が89.1%であったため、A評価となった。◆収支状況 概ね計画通りの支出状況であり、収支比率が約100.77%となったため、A評価となった。◆苦情・要望等 新型コロナウイルス感染症の影響による駐車場閉鎖への問合せ等にも丁寧な対応が行われている。◆事故・不祥事等 なし◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
B	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月3回程度	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
植物管理にあたっては、自然再生士、ビオトープ管理士、樹木医、植栽基盤診断士、街路樹剪定士、造園施工管理技士及び造園技能士等の指導による適切かつ効率的な育成管理を行う。	日常管理に加えて定期的に倒木の恐れがある危険木を伐採していき、来園者・近隣住居への事故を未然に防いだ。	
法定点検は法令に基づいて実施することとし、来園者の安全を確保するため、保守点検は、日常点検、定期点検及び臨時点検を行う。なお、点検時に異常を発見した場合は、速やかに修繕等必要な対応を行う。	日常点検、定期点検に加え、臨時点検にて照明の不点灯を発見し、照明灯の修繕を行った。 梅雨時期の大雨警報発令時には夜間待機、パトロールを実施した。	
来園者に快適なサービスを提供するため、公園の総合案内窓口として、正確でわかりやすい案内を行うとともに、園内では「誰でも・いつでも・どこでも」案内ができる取組を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために行った駐車場閉鎖について、多くの問合せがあったが丁寧な案内をして円滑な公園利用を図った。 パークセンターにスタッフ手作りの雛飾りを設置し、来園者から好評だった。	
巡視中やイベントの開催時など、常にマナー違反や事故等の未然防止に取り組む。横須賀土木事務所や警察、地域等の関連機関と連携しながら、公正・公平かつ毅然とした態度で利用指導に取り組む。	不審火対策として警察・消防と連携しながら夕方の巡回も増やし、防止に努めた。 子供用遊具で大人が遊ぶことがあるため、利用制限の看板を設置した。 春先になると野草を盗掘する者が後を絶たないため、警察と連携しながら見回りを行った。	
既存のボランティア団体と今後も協働を継続して行うとともに、新規の方への呼びかけを積極的に行う。ボランティアが連携し活動を通じて公園を楽しんで活用してもらうために、「公園倶楽部」を引き続き開催する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、ボランティア団体との協働も縮小したが、連携は継続した。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
地産地消、三浦・横須賀の山の幸や観音崎の海の幸を食材に安全なメニューを提供する現事業者(レストランマテリア)を継続する。	緊急事態宣言時に休業した。 食品衛生を第一に食品衛生パトロールも実施し、衛生管理を徹底した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	867,016	766,383	658,352
対前年度比		88.4%	85.9%
目標値	845,000	850,000	850,000
目標達成率	102.6%	90.2%	77.5%

目標値の設定根拠：

提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）：

駐車台数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<p>【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p>
<p>①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 政府の1回目の緊急事態宣言を受け、4～5月に駐車場を閉鎖することになり、4、5月を合わせた来園者数が前年度の2割程度に減少した。また、年間を通じた来園者数について、緊急事態宣言が出ていない期間においては、前年度と比べてほぼ変わらないが、外出の自粛やイベントの中止等により来園者数は減少し、前年度比と目標値のどちらも下回った。</p>
<p>②令和2年度の対応状況 1回目の緊急事態宣言解除後は、コロナ禍ではあっても、オープンスペースである公園利用のニーズはなくなり、一定程度の公園利用があったため、来園者に対しては密を避ける案内、飲酒自粛の案内等の取組を行い、安全に公園利用ができるよう運営管理を行った。</p>

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント1回の計7回調査の結果を使用する。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 120 / 122 = 98.4%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	61	46	3	8	2	120	
回答率	50.8%	38.3%	2.5%	6.7%	1.7%		
前年度の回答数	90	83	6	14	1	194	
前年度回答率	46.4%	42.8%	3.1%	7.2%	0.5%		
回答率の対前年度比	109.6%	89.6%	80.8%	92.4%	323.3%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 —
②令和2年度の対応状況 —

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	90,616	0	36,391	駐車場:31,943 自販機:4,448	127,007	127,203	-196	
	決算	90,616	0	35,592	駐車場:31,580 自販機:4,012	126,208	124,546	1,662	101.33%
前年度	当初予算	92,294	0	35,407	駐車場:30,595 自販機:4,812	127,701	127,701	0	
	決算	92,294	0	35,738	駐車場:31,588 自販機:4,150	128,032	127,767	265	100.21%
令和2年度	当初予算	95,959	0	35,407	駐車場:30,595 自販機:4,812	131,366	131,366	0	
	決算	98,329	0	32,952	駐車場:29,326 自販機:3,626	131,281	130,277	1,004	100.77%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応として、県との協議により令和2年度の指定管理料を増額した。

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

—

②令和2年度の対応状況

—

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	口頭	1 件	素掘りトンネルの照明が消えている。	照明設置対応。
	メール	件		
	アンケート	件		
職員対応	口頭	件		
	アンケート	件		
事業内容	メール	件		
	アンケート	件		
その他	口頭	2 件	強風で乾燥しているなか、バーベキューエリアで焚火をしている。火が燃え移らないか心配なので注意してほしい。	利用者全員に声掛けを行った。
	アンケート	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。